

教育委員会 12月定例会会議録

日 時 平成30年12月19日(水) 午前9時30分から午前10時16分まで

場 所 市役所11階南会議室

出席者

(教育委員)

教 育 長	塩 崎 政 江	教育長職務代理者	村 山 昌 暢
委 員	湯 澤 晃	委 員	奈 良 知 彦
委 員	石 井 裕 美		

(事務局)

教 育 次 長	根 岸 隆 夫	指導担当次長	林 恭 祐
総 務 課 長	田 村 聡 史	教育施設課長	井 野 寿 志
文化財保護課長	田 中 隆 夫	学校教育課長	青 木 美紀夫
生涯学習課長	若 島 敦 子	青少年課長	渡 邊 隆 志
総合教育プラザ館長	山 中 茂 樹	図書館長	栗 木 佳 香
前橋高等学校事務長	武 井 裕 之		

教 育 長 これより前橋市教育委員会12月定例会を開会いたします。

教 育 長 直ちに本日の会議を開きます。

教 育 長 11月定例会の会議録については、既に配付済みであります。記載事項に異議等ありませんか。

(異 議 な し)

教 育 長 異議のないものと認め、承認いたします。

教 育 長 日程第一。会期の決定ですが、本会議の会期は、本日一日といたします。

教 育 長 日程第二。会議録署名委員の指名ですが、本日の署名委員に村山委員と湯澤委員を指名いたしますので、よろしく願いいたします。

教 育 長 日程第三。教育長提出の諸報告について、報告いたします。はじめに、教育長より総括的報告を申し上げます。

教 育 長 **総括的報告**
総括的報告を申し上げます。お手元にレジュメを配付させていただきましたのでご覧ください。

1番目は、教育福祉常任委員会が11月19日に開催されました。教育委員会の関係としては、公の施設の指定管理者の指定ということでおおさる山乃家について報告がありました。

2番目は、第4回定例市議会が開催されました。11月28日から12月14日までの会期で開催され、総括質問が12月5日から7日までの3日間で行われました。質問項目一覧表をお配りさせていただきました。

図書館や市立前橋高校、公立幼稚園、幼児教育センターなどについて、また入学前の就学援助制度や教員のゆとり確保のこと、学校の施設の安全のことについても質問がありました。詳細は後ほど一覧表をご覧ください。

3番目は、学区別教育懇話会について、第7学区が11月22日に大胡公民館で行われました。全体の報告はこの後になされますが、子供たちの健全な成長に向けて大人ができることということで、不登校や対人関係、スマホやゲーム、SNSのこと、防犯のことが話題になりました。

その中で、保護者と学校とがうまく連携を取り合うことで信頼関係を築くことが大切だとか、SNSに関しては、顔を合わせれば良いのにメ

ールをする若者がいて課題となっているということや、子供の頃から色々な人と関わることでコミュニケーションが身に付くようになるという話が出ていました。

学区別教育懇話会には教育委員の方々にも参加していただき、ありがとうございました。

教 育 長 それでは、ただ今の報告について質疑等ございますでしょうか。

奈 良 委 員 市議会の質問でもあったのですが、高校生のヘルメット着用の件でモデル校になったと聞きましたが、説明していただけますか。

前橋高等学校事務長 先日委員の皆様にはご連絡をさせていただきましたが、高校生の自転車ヘルメット着用事業については、第一弾として高崎経済大学附属高校でモニター事業を開始しました。第二弾として12月17日から1月末日までとしてモニター事業を本校で実施し始めました。このモニター事業については、生徒から希望者を募りまして、保護者の同意を得て始めております。モニターということですので、ヘルメットを着用した生徒の感想を群馬県に報告し、次の事業へつなげていくということです。男子6名、女子生徒3名合計9名で始まりました。市のフェイスブックについてもヘルメットの贈呈式をアップしましたので、ヘルメットをかぶっている姿もアップしていきたいと思っております。実施期間が短期間で、今後継続実施されるかは分かりませんが、随時意見は報告していきたいと考えております。

教 育 長 県にはぜひ全県下で進めてほしいと要望をしておりますので、それが少し進んだのかと思っております。

教 育 長 ほかになければ、以上で質疑を終了します。

教 育 長 日程第四。教育長提出の議案を上程いたします。
それでは、議案第28号を議題といたします。説明をお願いいたします。

議案第28号 前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）策定について

図 書 館 長 前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定につきましてご説明申し上げます。

本計画の策定に当たりましては、本年6月、前橋市子ども読書活動推進計画策定委員会を立ち上げ、会議により原案の策定を行ってまいりました。

教育委員会9月定例会後の協議会においてご協議いただき10月にパブリックコメントを実施し、最終案を策定いたしました。

まず、資料の1ページと2ページをご覧ください。第1章の「はじめに」に記載した主な内容についてご説明申し上げます。

策定委員会では、第三次計画の策定に当たり、前橋市の子供たちの読書の実態を把握するため、アンケートを実施することといたしました。アンケート結果では、各年代にわたり本を読む子供が全国平均よりも多いことが分かりました。この結果は、これまでの第一次、第二次計画において、関係各課及び関係団体等がそれぞれの取組を推進してきた成果であると同時に、この取組を継続していく必要性を改めて認識いたしました。

こうした現状を踏まえ、第三次計画では、これまで読書に親しむことができなかつた子供たちに読書活動が広がるよう、多角的な視点から事業を拡大することといたしました。

さらに、これまで様々な分野で子どもたちの社会教育活動を支援いただいた前橋市読み聞かせグループ連絡協議会や国、県、NPO等の団体との連携を一層強化することにより、より効果的な推進が図れるとの思いを計画に盛り込みました。

これまで進めてきた「本と出会うきっかけづくり」、「本の楽しさやすばらしさを伝え合う」取組をさらに発展させ、これまで本に親しむ機会のなかつた子供たちにも本を届けることを目標に、様々な取組を進めてまいります。

第2章では、第二次計画の取組状況として、市関係課や学校、幼稚園保育所、関係団体等での取組状況や成果と現状を記載いたしました。

5ページの「2子ども読書の現状」では、7月に実施したアンケートを基に分析結果を記載してございます。

8ページの「4今後の課題」では、子供が本と出会うためには、保護者等へのさらなる啓発活動が必要であること、中高生へと年齢が上がるにつれ不読率が高くなること、子供の読書活動を効果的に推進するには、民間団体を始め教育機関、関係公共団体等が相互に連携体制を築いていく必要があることなどを挙げさせていただきました。

また、中段の13行目、「加えて近年では」の部分ですが、スマートフォンの普及など子供を取り巻く情報環境の変化により、これらが子供の読書環境にも影響を与える可能性があるとし、国においても実態の把握と分析等の取組を進めることとしていることから、インターネット利用や電子書籍等に関する記述を加え、国の動向をみながら実態把握に努めることといたしました。

まず、理念といたしまして、第一次計画では子供たちが「本との出合いを広げ心豊かに」成長していくことを願い、第二次計画では子供が主体的に本に親しむことを目標に「伝えよう 本のすばらしさを」として本と人をつなげる「人」の役割を重視して取り組んでまいりました。第三次計画

ではこうした取組をさらに発展させ、これまで本に親しむ機会のなかった子供たちに本を届けるために様々な取組を進めるということで、テーマを「つなげよう読書のわ みんなにとどけ 本のちから」といたしました。

目標に向けて、家庭・地域、学校・幼稚園、図書館、関係機関等が連携協力しながら、子供たちの読書環境を整備していきます。

本計画の目的ですが、第二次計画の期間が終了したことに伴い、第二次の取組状況や成果を整理し、引き続き本を読む子どもをさらに広げるなど、さらなる子ども読書活動の推進を図ることとしております。

目標は「読書の好きな子どもを育成し、1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を減らす」といたしました。

方針といたしまして、これまで進めてきた家庭や地域、学校、図書館における「子ども読書活動の推進」に加え、「関係機関との連携による子ども読書活動の推進」を掲げ、これまで様々な分野で子供たちの教育活動を支援いただいた前橋市読み聞かせグループ連絡協議会や、国、県、NPO等の団体との連携を一層強化することにより、より効果的な推進が図れるとの思いを計画に盛り込みました。

計画期間は、平成31年度から5年間とし、計画の対象は概ね18歳以下の子供といたしました。

11ページからは方針で掲げた項目ごとに推進する事業を具体的にお示ししております。事業名、事業の内容、また所管となる担当部署を記載しております。区分につきましては第一次計画、第二次計画で実施されてきたものは継続、または拡充となっておりますが、第三次計画で新たに取組む事業につきましては新規としてございます。

資料編につきましては、アンケート調査の結果について質問項目ごとに回答割合の表とグラフで表したものを記載しております。

調査概要は記載のとおり市内小中学生、高校生、幼稚園保育所等、小中学生の保護者、また施設を対象として実施した結果となっております。

また、パブリックコメントへのご意見は寄せられませんでした。アンケート実施時に各施設からいただいたご要望とご意見は別紙のとおりでしたので併せてご報告させていただきます。

以上、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

教 育 長

ただいまから、提案説明のありました議案について、質疑に入ります。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

教 育 長

この概要版はどういった資料なのでしょう。説明をお願いします。

図 書 館 長

計画書をコンパクトにまとめたものです。一般家庭にも配布しまして家庭での取組を中心としてどんなことを子供たちのために支援してほしいかという内容が書かれています。

- 教 育 長 この概要版も含めてご意見いただければと思います。
- 石 井 委 員 第一次計画、第二次計画に基づいて今回の第三次計画となっており、良い計画になっていると思います。
- 教 育 長 第一次計画では、「本との出会いを広げ心豊かに」育ってほしいというテーマで進めてきまして、第二次計画では、主体的に本と親しめるように色々な人と関わりながら「伝えよう 本のすばらしさを」ということで進めてきました。そして今回は、「つなげよう 読書のわ みんなにとどけ 本のちから」がテーマとなっています。
- 湯 澤 委 員 自分の息子も中学一年生ですが、タブレットで本を読むようになりました。親としては複雑な気持ちです。本を読むことは親としては勧めています。小説になると1、2時間と長時間になるので、スマートフォンで見ていると本人の健康が心配になります。教育懇話会でも話が出ていましたが、現時点では余り問題にはなっていないと思いますが、今後についてはその辺が課題となってくるかと思っています。
- また、本を読まない理由として、「他のことが楽しいから」との記載がありますが、他のことが何であるのかが教育委員会としては気になる場所だと思います。計画全体としては、これまでの経緯からの流れが分かりやすくまとめられていると思います。
- 教 育 長 第一次、第二次の計画があつて第三次となっているという流れが分かるようになってきているということですね。タブレットで本を読むということは現時点では小さなことでも、今後もっと複雑な課題が出てくることはあり得ると思います。
- 村 山 委 員 読書が好きなのか、本が好きなのかということもあると思います。私は、大きさと重さがあつて、表紙、裏表紙の装丁があつてそれも含めて本が好きで、内容も好きですが、本自体が好きです。これからは本の中身が好きになることが重要になってくると思います。電子書籍にうまく乗り換えていくことが必要なのだと思います。それに応じてスマートフォン、インターネットに関する教育も必要となってくると思います。
- 教 育 長 読書が好きなのは良いことなのですが、本にも親しんでほしいという思いもあります。しかしながらこれからの時代はそれだけではいけないと思います。今後は読書、つまりその文章を読むことが好きな子供を育てるというふうに変化してくることも考えられるので、その辺も研究しながら進めていく必要があると思います。絵本などの良さは、本ではないと分からないと思います。タブレットで見る本と本物の絵本とはやは

り違うと思います。本を大事にしながらも、将来的には本に限らず読書自体を推進していくようになると思います。この辺りは今後の検討課題だと思いますので、ご指摘いただいたご意見は事務局でも取り入れながら進めていきたいと思っています。

奈良委員 計画的に第一次計画、第二次計画と進んできて、それを受けて第三次計画があるのだと思います。ぜひこの推進計画に関わる人たちがその辺をしっかりと理解して子供たちを導いていただければと思います。

教育長 8ページの今後の課題の8行目のところですが、不読率の全国平均が小学生で5.6パーセント、中学生で15パーセント、高校生で50.4パーセントですが、本市は小学生で2.5パーセント、中学生で6.3パーセント、高校生で26パーセントとなっています。全国の半分程度だと思います。その辺りは協議会等で話題になりましたでしょうか。

図書館長 これについては策定委員会でも予想外であったということで、これまでの取組が功を奏しているのだと思います。特に第二次計画の結果としてグラフにしてありますが、例えばブックスタートの絵本引き換え率が上がってきたり、イベントの参加者が増えてきたりといった地道な取組が数値に現れてきているのだらうと思います。

教育長 高校生のデータは市立前橋高校でアンケートを取ったと思いますが、随分本を読んでいることが分かり嬉しいですね。子供たちは育ってはきていますが、まだまだ本を読んでいない子もいるので一人でも多く手を差し伸べて、「みんなに届け」ということで第三次計画を進めたいという思いです。

教育次長 不読率のところですが、今お話にあったとおり、国の平均値に比べて本市の不読率は低いという結果になっています。これまでの積み上げの成果だと思います。国の方で次の計画を作っていますが、4年後の2022年の目標というのが、小学生が2パーセント、中学生が8パーセント、高校生は26パーセントということで、これらの数字は既に上回っており、かなり不読率は低くなっております。

これまでの第一次計画、第二次計画を基に、第三次計画についても引き続き進めていきますが、保護者の方にも読書の習慣を付けていただければ、子供たちにも良い影響を与えていくことになると思います。月に1冊も本を読まない子供が少なくなるように取り組んでいきたいと考えております。

教育長 図書館に行く親子はまだ良いですが、そうではない子供にどうやって

本を勧めていくかということだと思います。色々なところと連携していただいて、保護者も含めて読書を勧めていけると素晴らしいと思います。

図書館長 お配りした概要版の表紙については、スタッフが手書きで書いてくれました。読書の楽しさを表現いたしました。概要版を開いた左側には市としての主な事業を記載してあります。右側には、子供たちの発達段階に応じて、本が常に身近に感じられるようになるための家庭での取組が記載してあります。裏表紙については、参加したり、体験したり、調べたり、交わったりという行動パターン別に取組をお知らせしています。

教育長 テーマが伝わるような絵ですね。スタッフが描いたものですので、ほかにも使えるということですね。

教育長 ほかになければ、以上で質疑を終了します。
それでは、議案第28号について、多少の文言修正は行いますが、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

(異 議 な し)

教育長 異議のないものと認めます。よって、議案第28号について原案どおり可決いたします。

教育長 日程第五。その他について報告事項がございます。説明をお願いいたします。

その他1 行事について

総務課長 行事についてご説明させていただきます。資料28ページをご覧ください。1月の行事予定ですが、1月15日 火曜日午後3時から教育委員会1月の定例会を予定しております。場所は11階南会議室ですので、よろしく願いいたします。(ほか、資料の主だった予定を紹介)

続いて議案書の29ページをご覧ください。2月の行事予定ですが、2月19日 火曜日には教育委員会2月の定例会を予定しておりますので、よろしく願いいたします。(ほか、資料の主だった予定を紹介)
行事につきましては以上です。

その他2 前橋・高崎連携文化財展の開催について

文化財保護課長 本文化財展は、前橋・高崎連携文化財活用事業として、平成19年度から毎年開催しており、今年で12回目となります。

今回は、展示テーマを『災害を乗り越えた先人たちー考古学からみた

『災害と復興の歴史』として、例年どおり前橋と高崎の2会場で開催いたします。

前橋会場は、前橋プラザ元気21にぎわいホールにおいて、1月9日から15日までの7日間、高崎会場は、高崎シティギャラリー2階第6展示室において、1月19日から28日まで10日間の開催を予定しております。

展示内容につきましては、前橋、高崎両市で起こった災害を先人達がいかに乗り越えてきたか、今現在の防災についても紹介する予定でございます。

文化財展の開催内容の概要につきましては、チラシに記載してございますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

その他3 平成30年度「まえばし教育の日事業」の実施結果について

学校教育課長

平成30年10月16日から11月15日までの期間に、各課主催で12事業、各学校、園の主催で182事業が「まえばし教育の日」事業として実施されました。

今年度も「まえばし教育の日」について広く周知徹底を図るため、事業一覧表の作成、シンボルマークの活用、広報まえばし、市ホームページへの掲載などの広報活動を行いました。その結果、多くの市民や児童生徒、保護者に「まえばし教育の日」を知っていただく機会となり、今まで以上に定着を図ることができたと考えております。

来年度も教育委員会関係課のみならず、市長部局や各関係団体等との連携をより深めて、事業内容の一層の充実を図りたいと考えております。

次に、「まえばし教育の日」事業の中心的なイベントとして、11月17日、18日に開催されました「まえばし学校フェスタ2018」について報告いたします。資料は34ページです。

この「学校フェスタ」も今年度で9回目の開催となりました。

今年度の児童生徒の参加者数ですが、資料の3をご覧ください。

ステージ発表で537名。展示発表として、746名。ブースによる発表が37名。さらに中学生のボランティアを合わせ、合計1,330名の児童生徒が参加しました。

また、4にありますように、2日間合計で4,706名の方にご来場いただくことができました。ステージ発表を2日間実施するようになり、今年度で5年目になりますが、毎年5千人の方にご来場いただいております。フェスタの時期や内容が周知され多くの方にご覧いただけているものと考えております。

そして、5にありますように、今年も市内6ロータリークラブとの共催という形で、前日の準備から、当日の運営、そして、最後の会場片付けまでを協働で行いました。また、ロータリークラブからは、消耗品や

生徒の参加賞等の準備においても、大変なご協力をいただいております。

各学校や参加児童生徒の感想を見ると、日頃学校で行われている各種教育活動の成果を、広く保護者や市民の皆さんに知っていただく機会となると同時に、子供たちにとっても大変貴重な体験となったことが伺えます。

来年度につきましても、今年度の成果を生かしながら、新たな企画を取り入れるなどの工夫をし、学校文化を広く発信する機会として、事業の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

その他4 平成30年度「学区別教育懇話会」の実施結果について

学校教育課長

この教育懇話会は、市PTA連合会主催により、「各学校のPTA活動の充実と活性化を図る」ことを趣旨として、10月中旬から11月下旬にかけ、市内7地区で実施いたしました。

具体的な内容ですが、資料にありますように、教育懇話会Ⅰでは、講演会や代表校PTAによる実践事例発表、グループワークなどが行われました。

また、教育懇話会Ⅱでは、PTA会長、本部役員、学校長、教育委員会関係者が意見交換を行いました。教育委員の皆様にもご参加いただき、懇話会の様子をご覧いただくとともに、意見交換にも参加していただくなど、ありがとうございました。今年度、各学区で話し合われた主な話題については、資料に載せておきましたので、そちらをご覧ください。

今回情報交換されたことを受け、今後も、家庭・学校・行政の連携を図りながら「生き生きと学ぶ元気な前橋の子ども」の育成に向けて、努めてまいりたいと思います。

その他5 第71回前橋市成人祝の開催について

青少年課長

今年度の成人祝は、平成31年1月13日、日曜日、正午よりヤマダグリーンドーム前橋において開催いたします。

該当者数は3,450人で、うち参加者については70%程度を見込んでおります。障害のある方や着物が着崩れてしまった方にも対応できるよう、ボランティアを配置するなど、一人でも多くの新成人が参加できるように準備を進めております。また、家族やお世話になった先生方にも式典の様子を見ていただくために、3、4階スタンド席に家族席、恩師席を設ける予定です。

プログラムは第一部アトラクション、第二部セレモニー、第三部はたちのつどいの三部構成となっております。はたちのつどいでは、新成人へのお祝いメッセージとして、市立前橋高校書道部による書道パフォーマンスを披露いただけることになりました。

プログラムの内容につきましては、新成人23人による、第71回前橋市成人祝企画運営委員会において検討を重ねて決定いたしました。ま

た、ボランティアとして、既に決定している来年度の企画運営委員に、運営への協力をいただくことになっています。

開催に当たっては、関係各課から式典に43人、降雪時の除雪係員として20人の職員の応援をいただきます。

大変お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたします。

その他6 「ふれあい図書館まつり」の開催結果について

図書館長

本事業の開催趣旨でございますが、読書週間及び「まえばし教育の日」事業にあわせ、身近で親しみやすい図書館をめざすとともに、図書館の利用促進を図ることを目的に、平成30年10月18日木曜日から11月18日日曜日まで開催いたしました。

事業内容と開催結果についてご報告申し上げます。

まず、講演会でございますが、10月20日土曜日に図書館地下講堂で開催いたしました文化講演会は、前橋藩松平家記録の解説、監修をお願いしている駒形義夫先生を講師にお迎えし、「松平家記録から読み解く武士たちの実相」～幕末期、人々は時勢の推移や変化をどのように知ったのか～と題しまして、激動の幕末期に藩士や庶民がどのように信頼できる情報を手に入れていたかを、資料や実物の書簡を紹介しながら詳しく読み解いていただきました。20歳代から70歳代以上までと幅広い年齢の方々70名が参加してくださり、熱心に耳を傾けていました。

次に11月18日日曜日に図書館地下講堂で開催いたしました特別講演会は、『旧町名への旅』の著者であり、それいけまえばし出前講座の市民講師である倉地啓仁氏を講師にお迎えし、かつて前橋市内に存在した町名について、お話いただきました。実際の地図や現在の様子などの写真をプロジェクターで投影し、その名前の由来や歴史などをご紹介いただきました。この講演会は3年連続の開催となりますが、過去2回で取り上げていない町にスポットを当てたもので、これまでと同様に市民の関心が高く、こちらも20歳代から80歳代まで59名の参加者が熱心に耳を傾けていました。

2といたしまして図書館で不用になった図書を活用した「ブックリサイクル」を、11月1日木曜日と11月11日日曜日の両日、午前と午後、計4回、図書館地下講堂で実施しました。入場者は合計344名で、3,965冊の図書が参加者の家庭に持ち帰られました。

3といたしまして図書館所蔵の資料を活用したDVD上映会「ぷちシネマ」といたしまして、10月18日木曜日の午後と11月1日木曜日、午前の計2回、いずれも3階視聴覚室で行いました。1回目は30名、2回目は29名参加者があり、「毎回楽しみにしています。」「毎月開催して欲しい。」などのご意見や次回上映して欲しい映画のタイトル等がアンケートに寄せられました。

4といたしましては、2階展示室で開催中の常設展「前橋市立図書館

100年のあゆみ」内に10月18日木曜日から「図書館のサービス～こんなこともやっています」と題して特設コーナーを設けました。前橋市立図書館の特徴である物流ネットワーク、配本サービスなどを写真や解説パネルで紹介しました。

5といたしましては、郷土資料室ミニ展示「郷土おもしろ本、集めました。」は、通常書架に配架されている郷土資料の中から職員がお薦めする本をピックアップし紹介文とともに展示することにより資料のPRと利用促進を図ったもので、10月17日水曜日から12月9日日曜日まで2階調査相談室前で行い、来場者数が240名、貸出冊数は17冊でございました。

教 育 長 総務課からの行事予定で、次回の定例会についてですが、1月15日火曜日午後3時からということでしょうか。

(異 議 な し)

教 育 長 では、1月定例会については1月15日 火曜日午後3時からと決定します。

また、2月定例会については2月19日 火曜日午後3時からということで予定することで、よろしいでしょうか。

(異 議 な し)

教 育 長 では、2月定例会については2月19日 火曜日午後3時からということをお願いいたします。

教 育 長 それでは、ただ今の報告について質疑等ございますでしょうか。

石 井 委 員 ブックリサイクルについてですが、図書館で不要になった本というのはどういう本になるのでしょうか。

図 書 館 長 図書館では、図書を購入するのに併せ、除籍も行っております。除籍になったものを市民の方にお配りするものです。

石 井 委 員 除籍になるともうその本は見られないのでしょうか。

図 書 館 長 除籍になる本については、同じようなテーマで必要があれば再び購入します。例えば、旅行雑誌のようなものは年度単位で購入をしていきますので、そういった雑誌の古いものが除籍になります。

教 育 長 図書館の専門家の方が見て不要になったものは家庭でご利用ください

教 育 長

ということになります。

他に質疑はありませんか。なければ、以上で質疑を終わります。
以上をもちまして教育委員会12月定例会を終了いたします。

(午前10時16分)